

発達障害の 理解と支援

本人理解につながる、
感覚特性と脳の仕組み

発達特性のある方は、
見え方や聞こえ方、感じ方に独特な感覚を持っている場合があり、
その感覚の特徴が生活上の悩みにつながることもあります。
『感覚特性』と呼ばれるこの特徴は人によって様々ですが、
この違いが生まれる理由には、
脳が関係していると言われています。
今回は、発達障害の感覚特性の研究者である
和田真氏を講師にお招きし、
感じ方の違いを生む脳の仕組みなどに関する
最新の研究成果を踏まえ、
感覚特性への対処法や社会の中で
支えるためのポイントについて、
ご講話いただきます。



日時

令和7年 11月24日(月・祝)
13:30-16:00 (13:00 開場)

会場

神奈川県 総合医療会館
7階大講堂

対象

発達障害に興味関心のある方々、当事者、
家族の方、医療教育福祉従事者等

講師



国立障害者リハビリテーションセンター研究所
発達障害研究室長

和田 真氏

2013年より、国立障害者リハビリテーションセンター研究所
脳機能系障害研究部 発達障害研究室長
(併任)企画・情報部 発達障害情報・支援センター
発達障害の神経基盤の解明と支援法の開発に取り組んでいる。

神奈川県発達障害支援センター かながわ A(エース)
県立中井やまゆり園 地域支援課

問合せ

TEL: 0465-81-0288 (代表) 平日 8:30 ~ 17:15
メール: nakaya.1356.sien@pref.kanagawa.lg.jp



神奈川県

KANAGAWA